

**[しまね地域マイスター発表資料]**

# **浜田市民に「はまだ灯」へ 参加してもらおうために**



**2026年2月13日**

**地域政策学部地域公共コース3回生**

**岡 奈穂**

## [目次]

- 01** 「はまだ灯とは」「しまね防犯サークルSCOTについて」
- 02** 「はまだ灯」の課題と活動内容について
- 03** 実際に行った活動について
- 04** 当日の様子・結論

## [はまだ灯とは？]

- ・ 2009年10月26日に当時島根県立大学1回生だった女子学生が殺害された痛ましい事件が発生した。
- ・ この事件で亡くなられた方のご冥福と事件の風化防止、浜田市民の防犯意識の向上を目的として「**しまね防犯サークルSCOT**（スコット）」が開催している行事である。

→しまね防犯サークルSCOTとは？



## [しまね防犯サークルSCOTとは？/活動内容]

- ✓ 週に2回（火・金）の大学周辺のパトロール
- ✓ 警察や市役所との防犯啓発活動
- ✓ 「はまだ灯」の活動



- ❗ 部員は、3回生10名・2回生6名・1回生9名の計25名。  
令和2年に内閣府特命担当大臣表彰  
令和3年に安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰をそれぞれ受賞。



# 啓発活動などの様子

## [はまだ灯について]

### 【課題】

事件から16年が経ち、参加者の減少が目立つ



- ・まずは幅広い世代に行事を知ってもらおう
- ・参加してもらえそうなイベントを開催する



**「はまだ灯」で使うキャンドルホルダーを  
様々な世代に作ってもらったらどうか？**

## [はまだ灯について]

ということで...

### **【今回行う活動】**

- ① 「みんなであかりを作ろう」という企画名で  
まちづくりセンターへの出展
- ② 海遊祭では①に加え、出店ブースでも  
「はまだ灯」に関するチラシを配布する
- ③ 小学校へ行き、防犯に関する授業の一環で  
キャンドルホルダーを作製してもらおう



①：2つのまちづくりセンター（雲城・今福）での  
ペットボトルキャンドルホルダー作成



2か所ともまちづくりセンターのイベントに併せてスコットブースを出展した

## ②-1-1 海遊祭でのブース出展

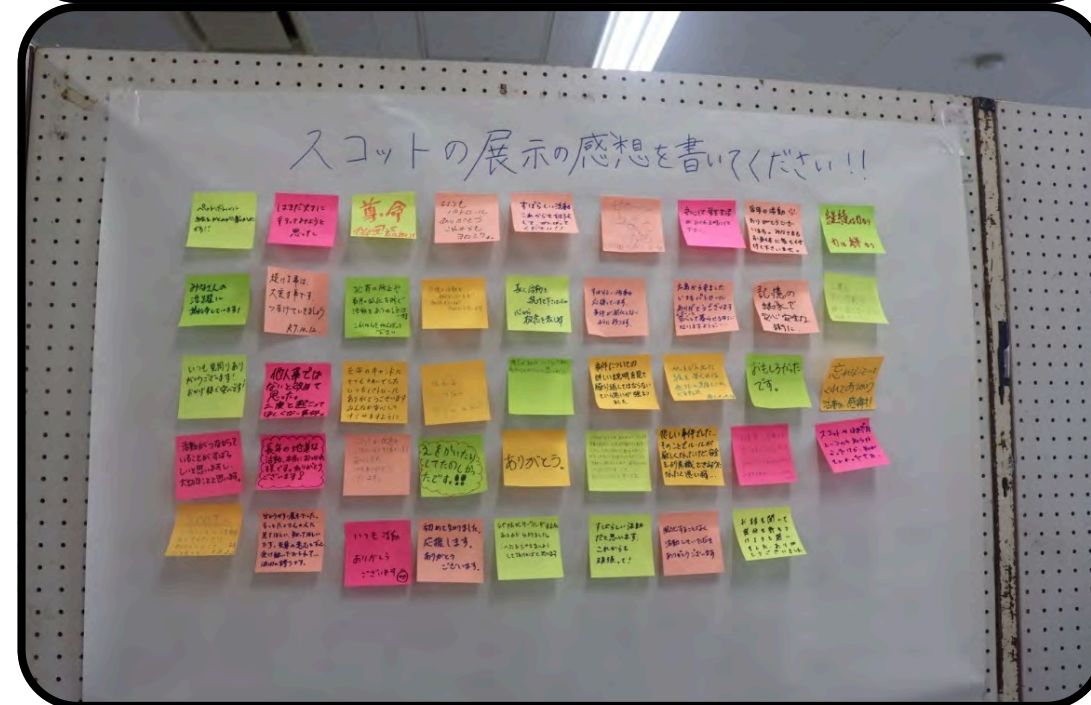
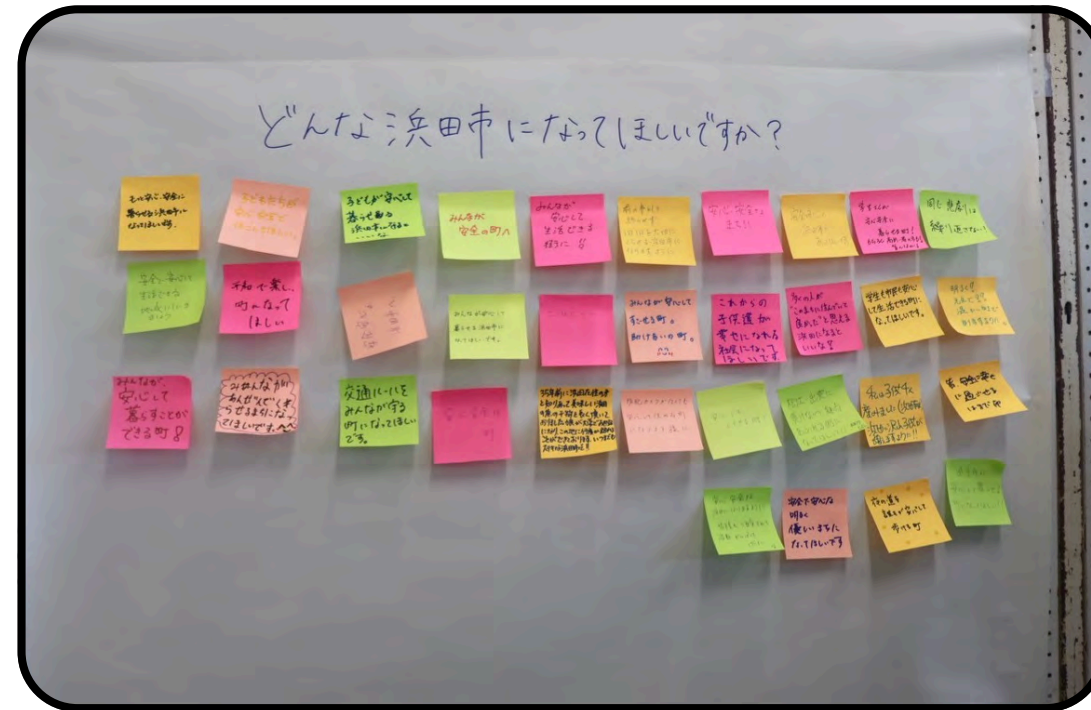
→キャンドルホルダー作製ブースだけでなく、事件当時の新聞記事やスコットの活動写真も展示し、はまだ灯についての理解を深めてもらった。



- ・ 展示ブースは島根被害者サポートセンターと合同で行った。
- ・ 初日には島根県の丸山知事にもご来場いただき、はまだ灯で使うペットボトルキャンドルホルダーを作製していただいた。

## ②-1-2 海遊祭でのブース出展

→キャンドルホルダー作製ブースだけでなく、事件当時の新聞記事やスコットの活動写真も展示し、はまだ灯についての理解を深めてもらった。



来場者の皆さんには、スコットへのメッセージと「どんな浜田市になってほしいか」というテーマも付箋に書いていただいた。

## ②-2 海遊祭での屋台出展

→ 焼きうどんを出店し、購入する際に  
展示ブースと、はまだ灯に関する  
案内を一緒に渡し、何も知らない人  
でも知ってもらおう「きっかけ」を  
作った。



令和7年10月26日(日) 17時30分頃  
島根県立大学浜田キャンパス内  
カフェテリア横にて

はまだ灯は、2009年に発生した事件で亡くなられた平岡さんのご冥福を祈るとともに、事件の風化を防ぎ、同様の悲劇を二度と起こさないようにするべく、学生や市民の防犯意識を高めるための行事です。  
当日は、1,500個を超えるキャンドルを会場に並べる予定です。  
市民の皆様のご参加をお待ちしております。

主催：しまね防犯サークルSCOT  
後援：浜田市役所(予定)、浜田警察署(予定)  
問い合わせ先：scot@u-shimane.ac.jp

### ③ 小学校での防犯とキャンドルホルダーに関する授業

→ 浜田市立原井小学校の5・6年生に協力していただき、  
はまだ灯の概要や防犯に関する内容を授業形式で  
学んでもらった後、ペットボトルキャンドルホルダーを  
作製していただいた。



## [はまだ灯について]

- 3つのイベントで集まったペットボトルキャンドルホルダーは、およそ250個だった。  
これらを用いて当日は平和を意味する「クローバー」を作った。
- また当日は、海遊祭で来場者の方々に書いていただいた付箋と、小学生に書いてもらった「どんな浜田市になってほしいか」というメッセージも展示し、浜田市長や浜田警察署長などにご覧いただいた。



## [結論]

- 当日は天候不順もあり、予想より来場者数は少なかったものの、準備やキャンドルホルダー作製イベントに関わった人を含めると300人以上となり、多くの方にSCOTという存在や「はまだ灯」を知っていただく機会となった。
- 直接の参加者増にはつながらなかったが、イベントを通じて「間接的な関わり」を広げられたことは大きな成果ではないかと考える。
- こうした接点の積み重ねが、一人ひとりの防犯意識の向上につながる可能性を高めるのではないかと考えた。

→思うような結論は出せなかったが、別の意味で良い成果が得られた。

## **[お礼]**

**このような活動を行うにあたって、ご協力をいただいた**

- ・ 浜田市役所**
- ・ 浜田警察署**
- ・ 浜田市教育委員会**
- ・ 浜田市立原井小学校**
- ・ 雲城まちづくりセンター**
- ・ 今福まちづくりセンター**
- ・ そして、イベントにご参加・ご協力くださった全ての皆様に心より御礼申し上げます。**

**これからも浜田市の安全安心のために積極的に活動します。**